

## JEITA/ECALGA 標準 2007 年度版の主な変更点

昨年発行した JEITA/ECALGA 標準 Ver 2006A-Rev 01 においては、利用しやすさ流し読みのしやすさの観点から、記述体系の是正を図るとともに全体の大幅な改定を行い 4 分冊形式で提供している。具体的にはビジネスモデルと関連するビジネスドキュメント（ビジネス辞書編）を分冊化し相互参照を容易にし、また、サプライチェーン編の記述はモデルの概要（モデル定義書と CBC 定義書）と詳細（BC 定義書）を一連で書き綴り参照記述箇所の探索を最小限にしている。

今回の改訂ではこの編集方針の踏襲の上でエンジニアリングチェーン編の CBC、BC の追加、改訂とともにビジネス辞書編の関連した改訂、および技術編の小改定等を実施した。

したがって今回は追加・改訂した CBC 定義書、BC 定義書、BD 定義書のみを Ver 2007A-Rev 01 とし、改訂していない Ver 2006A-Rev 01 と混在した標準書としているため、標準書全体は「JEITA/ECALGA 標準 2007 年度版」と呼ぶこととした。また、今回の改訂すなわち 2007 年度版の発行は分冊 1、2 のみであり、分冊 3、4 は従来どおり 2006A-Rev 01 を利用いただくこととした。

JEITA/ECALGA Ver 2007 年度版の標準記述体系

発行	分冊	編数	編 名	記述概略
2007 年度版 発行	1	I	解説編	標準の位置け、概要、変更点
	1	II	技術編	システム、ネットワーク
	1	III	ビジネス辞書編	ビジネスドキュメント、項目定義他
	1	IV	資料編	E D I 取引基本契約他の関連事項
	2	V	エンジニアリングチェーン編	技術情報交換ビジネスモデル集
2006 A のまま	3	VI	サプライチェーン編	商取引情報交換ビジネスモデル集
	4	VII	企業間プロセス制御型モデル (先端モデル)	交換プロセスの自動制御を前提とした サプライチェーン会話型モデル集

### 1. バージョン管理方法の変更

原則年 1 回の改訂にあたり、前述のとおり、新規追加および改訂した定義書部分（CBC 定義書、BC 定義書、BD 定義書単位）に新バージョン No. を施すこととし、標準書全体は発行年度で呼称することとした。編集作業は従来どおり年末までに次年度バージョンの改訂作業を進め、翌年 3 月から 5 月の間に新バージョンの発行を行うこととなる。

今年度の例では、

改訂作業期間：2006 年 6 月－2007 年 1 月

新規追加・改訂した定義書のバージョン No.：Ver 2007A-Rev 01

標準書全体バージョン：2007 年度版

## 2. エンジニアリングチェーンで改訂したビジネスモデルとその概要

ビジネスモデル名	改訂内容
納入仕様書交換モデル	
購入仕様書交換モデル	新規追加
環境情報交換モデル	
廃止品情報交換モデル	従来どおり

このほか、E C A L G A Ver 2 0 0 8 A 以降では、新製品情報交換モデル、技術見積り情報交換モデル等が計画されている。

## 3. 技術編、ビジネス辞書編の改訂

II. 技術編において、通信手順に「J E I T A 共通クライアント手順」の記載を追加した。

また、III. ビジネス辞書編においてはエンジニアリングチェーンの改訂に伴う項目、クラス、B D 定義の追加、変更を実施した。さらにサプライチェーン編 J E I T A - V M I モデルに関連したデータ項目名称の一部見直しを実施した。

以下、今回サプライチェーン編の改訂発行はしていないが、参考までに V e r 2 0 0 6 A 時点の改定の主旨を記載する。本編は 2 0 0 8 A における改訂を計画している。

## 4. 体系にビジネスモデルを追加 (V e r 2 0 0 6 A の改訂)

「J E I T A / E C A L G A 標準 Ver 2 0 0 4 A - R e v 0 1」にて暫定版として発表した、J E I T A - V M I モデルの中では、交換の主体であるプレイヤーが3者存在した。そのため、C B C 定義書を交換当事者毎に3つに分けて記述する必要性が出てきた。これまで1つの業務モデルを1つのC B C 定義書でまとめてきたが、上記のようなケースでは、モデル定義書を新たに作成して、C B C の相互関係を説明することとした。

J E I T A で扱う標準ビジネスモデルの総称はこれからも、「J E I T A ビジネスモデル」であるが、その中でも、複数の業務定義 (C B C 定義書) を組合せて作成するモデルを「業務名称+モデル」と表すこととなる。

なお、このようなケースは現時点で J E I T A - V M I モデルのみであり、ほとんどが1ビジネスモデル=1 C B C 定義書で構成されることから、このようなケースではビジネスモデル定義書を省略することとした。

5. サプライチェーン編で改訂したビジネスモデルとその概要  
(Ver 2006Aの改訂)

ビジネスモデル名 または CBC名	改訂内容
受発注 (CBC)	JEMA (社団法人日本電機工業会) からの要望を受け、見積、受発注関連のビジネスドキュメントに、代理店・特約店情報項目他、13項目を追加した。 検収、返品関連のビジネスドキュメントにも一部影響がある。
JEITA-VM Iモデル	EALGA Ver 2004Aの暫定版内容を正規化した。 また、標準納品システムと共用するビジネスドキュメントについて各モデル内に記述するものと、ビジネスドキュメントに記述するものとの再整理を行った。
標準納品システム (CBC)	JEITA-VM Iの正規化により、上記改訂を行った。
サプライチェーン編の全モデル	CBC定義書とBC定義書を一連の流れとして記述変更した。